

平成29年3月30日

平成28度 聖ヶ丘教育福祉専門学校教員研修会報告

聖ヶ丘教育福祉専門学校  
教員研修委員会

1 職場内研修会の開催

(1) 学生の防犯に関する校内研修会

- ① 期日 平成28年7月26日(火)一部学生  
8月2日(火)二部学生
- ② テーマ 不審者対応防犯について(実務研修)
- ③ 対象 全教職員・学生
- ④ 講師 神奈川県保土ヶ谷警察署生活安全課署員
- ⑤ 連携内容 保土ヶ谷警察署員と事前の打ち合わせをし、学校に不審者が侵入した場合に、学生の安全を守るための教員・職員の役割や行動の仕方、学生は自分の身を守るために気をつけなければならないことなどをDVDの視聴の後、実際の動きを通じた指導を署員から直接受けた。学校からは地域パトロールの強化をお願いし、今後の連携体制を図った。

(2) 学習指導に関する校内研修会

- ① 期日 平成29年1月30日(月)
- ② テーマ アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善  
(指導力向上研修)
- ③ 対象 全教員
- ④ 講師 神奈川県総合教育センター 指導主事 的野鈴恵 先生
- ⑤ 連携内容 アクティブ・ラーニングの視点が求められるようになった背景は、2030年の社会と子どもたちの未来のためである。人工知能の進化、情報技術の飛躍的な進化に対応できる人間を育成するには、という観点でアクティブ・ラーニングの考え方が導入された。具体的には、主体的な学び・対話的な学び・深い学びの3点であり、習得・活用・探究の学習サイクルを授業改善に考え、工夫することが、大切である。次年度の授業改善に向けて参考になる研修であった。

### (3) 保健衛生校内研修会

#### 第1回

- ① 期日 平成28年4月～5月の3日間
- ② テーマ AED操作研修会（実務研修）
- ③ 対象 全教職員
- ④ 講師 保健管理委員会委員長 遠藤由美子先生
- ⑤ 連携内容 AEDの設置に伴い、毎年全教職員に対して操作研修を行い、もしもの対応に備えている。本校教員の遠藤由美子が、資格を有しているために毎年の実施が可能になっている。

#### 第2回

- ① 期日 平成28年5月12日（木）
- ② テーマ 性感染症について～AIDS/HIV、梅毒を中心に～（実務研修）
- ③ 対象 学生・教職員
- ④ 講師 船員病院健康管理センター長 庄田昌隆 先生
- ⑤ 連携内容 学生は、自分の生活の中での基礎知識として、教職員は、学生対応の参考として役に立った。内容としては、①HIV感染症・AIDS・梅毒はどんな病気なのか。②その病気の予防の基礎知識について話があった。避妊具を配布しての話には説得力があった。

#### 第3回

- ① 期日 平成28年12月26日（月）
- ② テーマ 生活習慣病の予防と対策について（実務研修）
- ③ 対象 全教職員
- ④ 講師 船員病院健康管理センター長 庄田昌隆 先生
- ⑤ 連携内容 毎日学校において勤務している我々教職員は、毎年、健康診断を受け、何らかの結果をもらっている。しかし、その後の対応はなかなか進んでいないのが現状である。そこで、校医の庄田先生にお願いして、「源流から見直す生活習慣病の予防」をその1（肥満・脂肪肝の進展をおさえ、健康状態へ戻すには）その2（境界型糖尿病・脂質異常症・高血圧・一過性脳虚血発作・認知症）に分けて話があった。

## 2 職場外研修会への参加

### (1) 第17回日本子ども家庭福祉学会全国大会

- ① 期日 平成28年6月4・5日 日本社会事業大学 東京

- ② テーマ 子ども・子育て支援の今を思う  
～新制度の到達点と課題～（指導力向上研修）
- ③ 対象 家庭福祉関係教員
- ④ 講師 日本社会事業大学教授 金子恵美  
立正大学教授 大竹 智  
昭和女子大学教授 南野奈津子
- ⑤ 連携内容 家庭福祉学会会員として、1日目は「社会的養護におけるソーシャルインパクトボンド（SIB）の可能性」のは報告より、虐待防止政策の重要性を、また、2日目お分科会での「児童養護施設お小規模化に伴う職員の専門性及び施設運営の課題に関する研究」及び「移住外国人女性の離婚と子育てに関する研究」からは、担当教科に直接活かすことの内容を掴むことができた。

（2） 食生態学実践フォーラム総会研修会

- ① 期日 平成28年6月5日 日本女子大学 東京
- ② テーマ 「貧困の連鎖が深刻化するほど問われる、それぞれの食の自立、とりわけ「食事づくり」とは？その形成とは？」
- ③ 対象 食生態学及び栄養学等に関係する研究者
- ④ 講師 新潟県立大学教授 村山伸子  
狭山市保健センター主幹 宮野由紀  
宮城学院大学教授 平本福子  
女子栄養大学名誉教授 安達巳幸
- ⑤ 連携内容 基調講演テーマ「子ども・家族・地域の貧困と食」からわが国の現状報告と今後の取組みの方向性が示された。また、シンポジウムでは、現場からの報告として、保健センターお取組みと地域での食事づくり活動についての話があった。担当教科の指導にそして、学生対応にとても役立つ研修であった。

（3） 保育教諭養成課程研究会

- ① 期日 平成28年6月5日 日本女子大学 東京
- ② テーマ 「貧困の連鎖が深刻化するほど問われる、それぞれの食の自立、とりわけ「食事づくり」とは？その形成とは？」
- ③ 対象 食生態学及び栄養学等に関係する研究者
- ④ 講師 新潟県立大学教授 村山伸子  
狭山市保健センター主幹 宮野由紀  
宮城学院大学教授 平本福子

女子栄養大学名誉教授 安達巳幸

- ⑤ 連携内容 基調講演テーマ「子ども・家族・地域の貧困と食」からわが国の現状報告と今後の取組みの方向性が示された。また、シンポジウムでは、現場からの報告として、保健センターお取組みと地域での食事づくり活動についての話があった。担当教科の指導にそして、学生対応にとっても役立つ研修であった。

#### (4) 保育教諭養成課程研究会

- ① 期日 平成28年6月26日 聖心女子大学 東京
- ② テーマ 今こそ、幼児教育の質を高めよう
- ③ 対象 保育教諭研究会会員教員 2名
- ④ 講師 文科省初等中等教育局審議官 浅田和伸  
文科省初等中等教育局幼児教育課長 淵上 孝  
文科省初等中等教育局教職員課長 茂里 毅  
白梅学園大学大学院教授 無藤 隆
- ⑤ 連携内容 幼稚園教育要領の改訂及び教職課程の改訂について  
2時間半に亘り行政説明があった。その後、シンポジウムにて「こども園で求められている保育者の専門性について」をテーマに話があった。この幼児教育・教職課程の改革を受けて、養成校は何をすべきかについて、無藤 隆 研究会理事長より提言があり、我々養成校への課題として取り組みたい。

#### (5) 全国音楽大学教育学会

- ① 期日 平成28年6月11日 東京
- ② テーマ 新しい時代に対応する保育者・教員の養成  
(指導力向上研修)
- ③ 対象 音楽教育担当教員
- ④ 講師 作曲家(元教育芸術社) 橋本祥路
- ⑤ 連携内容 「幼児・初等音楽教育の今後の課題と展望」と題して音楽に対する情熱の伝わる講演であった。また、各大学からの研究報告があり、音楽の指導に大変効果的な研修であった。

#### (6) 第8回 介護教員継続研修

- ① 期日 平成28年8月6日 神奈川県立保健福祉大学  
実践教育センター 横浜
- ② テーマ ディズニーに学ぶ接遇

～やる気を育てるディズニー流接遇コミュニケーションと

指導のポイント～ (指導力向上研修)

- ③ 対象 介護科教員
- ④ 講師 接客向上委員会&Peace 代表 石坂秀巳
- ⑤ 連携内容 講師は、東京ディズニーランドのアトラクションの責任者及び研修インストラクターを兼任し、接客研修の基礎を築き上げた。その後、人材派遣会社で実績を重ね、現在の代表を務めている。

以下、その他の参加研修会名称のみ記す。

- 神奈川県労働局研修会 (実務)
- 子育て協会 (指導力)
- 全国保育士養成協議会 (指導力)
- 造形教育研究大会 (指導力)
- 保育教諭養成課程研究会 (指導力)
- 日本介護福祉学会 (実務)
- 全国教職員研修会 (実務・指導力)
- 介護教員継続研修会 (指導力)

他略

### 3 自己啓発研修

以下、参加研修会名称のみ記す。

- 日本乳幼児教育学会 (実務) ○ 白梅保育セミナー (指導力)
- 「薬物乱用防止・人権問題」教職員研修会 (実務)
- 全国保養協関東ブロック大会 (指導力)
- 子育て協会「佐々木セミナー」(指導力)
- 日本介護福祉士養成施設協会研修会 (実務)
- 全国小児栄養研究会 (指導力)
- 日本介護福祉学会 (実務) ○ 日本社会福祉学会 (実務)
- 日本発達心理学会 (指導力)
- 神奈川県社会福祉会・児童虐待セミナー (実務)
- 企業トップクラスセミナー・神奈川県労働局 (実務)

他略

以上